

〈第6回〉西原2町内子ども会「ハロウィンパーティー」 育成会会長 植原 朋枝

場所：西原2町内公民館

10月4日（日）、西原2町内公民館にて、秋のレクリエーションとして、ハロウィンパーティーを行いました。

例年ですと、夏休みのレクリエーションとしてボーリング大会を行っていましたが、今年は、3密回避の徹底が難しいという理由で、中止になっていました。加えて、校区の運動会も中止が決定し、子ども会のみinnで楽しむ機会が無くなってしまったので、役員のみinnで、何かできないかと考えました。

気候が良くなってきたので換気の良い屋外で活動できそうだとということと、市内の感染者が減少傾向なので(9月当時)、今なら集まっても良さそうと思い、新たな取り組みとして、秋のレクリエーションをすることにしました。

LINEグループで、2町内のお母さんたちからも案を出してもらい、ピクニックやドッジボール大会など色々な案の中から、ハロウィンパーティーに決定しました。

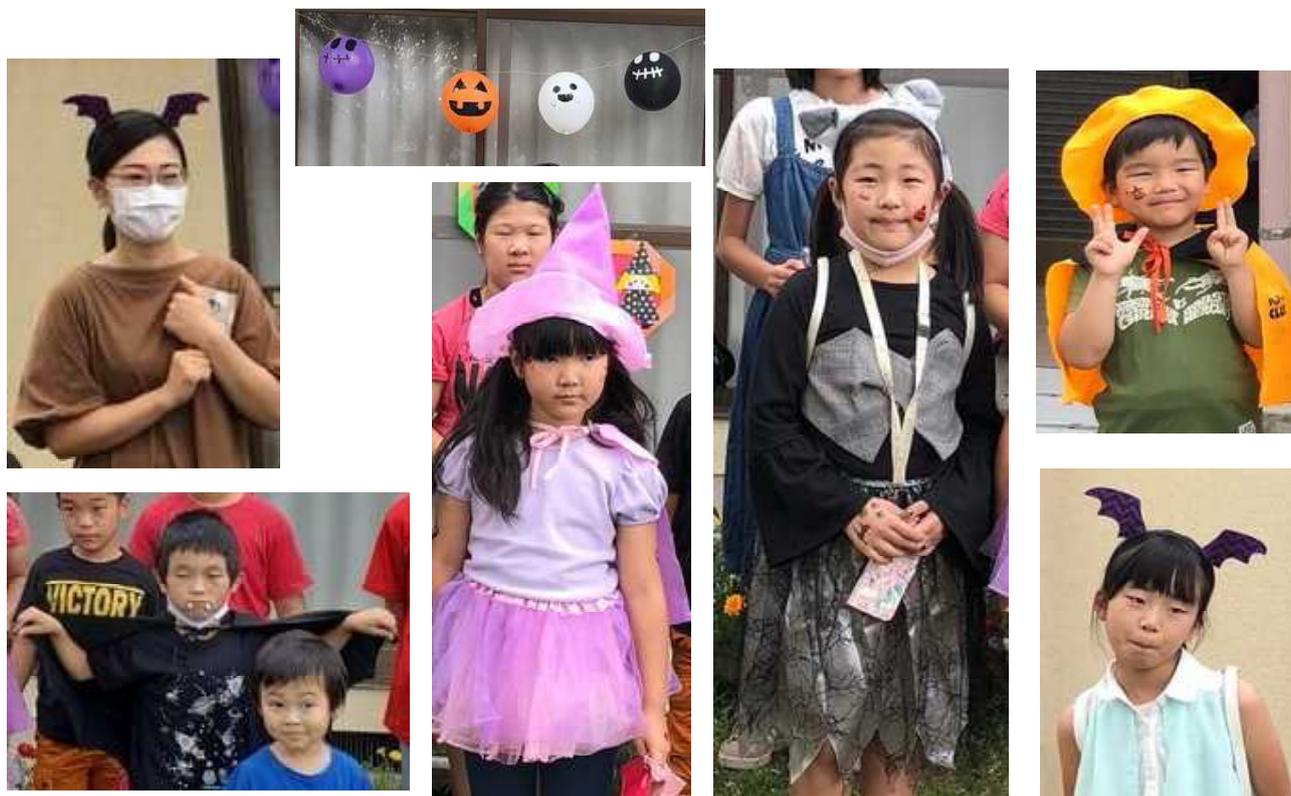


開催にあたっては、各自朝から 体調チェック、 マスク着用、 会場到着時に手指消毒をお願いしました。また、内容については、短時間で終わること、飲食はしない、などを考慮しました。

内容は、①新しく入会されたメンバーがいたので、簡単な自己紹介

②宝探しゲーム ③ピニャータ割り ④記念撮影 としました。

仮装も大歓迎と伝えていたので、数名が仮装してきてくれて、一気にハロウィン気分が上がりました。



宝探しでは、番号札を公民館のお庭に隠しておいて、見つけたら、番号の景品と交換できるというものでした。高学年は、すぐ見付けれるのですが、低学年や未就学児は、見付けるのが大変だったようでした。

ピニャータ割りでは、中にお菓子が入ったピニャータを2つ用意して、高学年チームと低学年&未就学児チームに別れて行いました。日頃のうっぶん？を晴らすかのように、みんな思いっきり叩いていました(笑)





短時間でしたが、みんなで一緒に顔を合わせることができて、良かったです。

保護者の皆様ご協力有り難うございました。

これからも、試行錯誤しながら、子ども会での体験や思い出を増やしていけたらと思います。

*ピニャータは、役員で作成したものです。

*いくつかの飾りも手作りです。

*記念撮影時は、マスクをはずしてます。



事務局から

事務局長 白石和典

1 お忙しい中、原稿・写真有り難うございました。

コロナ禍で、色々な行事が中止になるという逆境の中、子どもたちのためにと色々考えられて、今まではなかった「ハロウィンパーティー」を新たに実施されました。逆境＝中止ではなく、逆境をチャンスに捉えた素晴らしい取り組みだと思います。写真を見ると子どもたちの喜ぶ声が聞こえてきそうです。仮装して楽しむ姿にもそれが現れています。

2 活動を行うには育成者の支援が欠かせませんが、お菓子の入ったピニャータを高学年用、低学年・未就学児用と2つも作られました。より多くの子どもたちに楽しみの体験が行き渡るようにとの配慮だと思います。この活動の全てに育成者が子どもたちを思う気持ちが込められていると思います。

3 コロナウイルス感染防止対策を図りながらの活動でいろいろとご苦労もされたと思いますが、以後の子ども会活動も是非HPで紹介させて頂きたいと思います。益々の発展をお祈りいたします。